

酒田農業技術普及課

TEL 22-6521

FAX 22-6522

# 収量・品質向上のために! 適期防除、大型雑草の抜き取り徹底!

## I 生育は全般に旺盛、莢付きは平年並～やや良

7月以降も高温・多照・少雨傾向で経過し、全般に生育は旺盛で生育量は十分確保されています。2回の培土作業も適期に実施され、雑草害もほとんど見られない状況で、莢付きも平年並～やや良の状況と思われます。開花期は平年より早くなりました。管内の品種別開花期は下表のとおりです。

| 品 種    | 開花期 (平年差)   |
|--------|-------------|
| リュウホウ  | 7月23日 (-2日) |
| エンレイ   | 7月25日 (-3日) |
| 里のほほえみ | 7月29日 (-3日) |



## II 紫斑病・マメシクイガの防除は適期に確実に!

紫斑病と最重要害虫のマメシクイガは開花25日後頃に同時防除を実施します。この時期がマメシクイガの平年の産卵最盛期です。すでに防除適期に入っているところもあると思われます。地域によっては、防除計画時期の前倒しで防除を実施してください。

さらに、マメシクイガはこの10日後、平年の孵化期から若齢幼虫期にあたる時期に2回目の防除を行います。いずれも、遅れないように、莢にも確実に薬剤が掛かるよう防除を実施してください。

※マメシクイガの成虫の動きは活発でなく、あまり遠方には移動しないようです。

そのため、連作圃場に土着しやすい特徴があります。

注) 水稻の収穫時期が近付いている時期の薬剤散布です。薬剤が水稻や他の作物に飛散しないよう慎重に防除しましょう。

## III ダイズシストセンチュウに注意!

圃場全体は正常に生育しているのに、圃場の一部分で草丈が短く葉が黄化しているような場合、ダイズシストセンチュウの被害が疑われます。このような圃場がある場合は、被害の拡散を防ぐため、その圃場の全ての作業（今後の雑草抜き取り、収穫作業等）を最後に回しましょう。

暑い日はできるだけ早朝・夕方に作業するなど、  
熱中症予防を心がけましょう!

## IV 大型雑草の抜き取りと畦間雑草の除草徹底!

大型雑草や群生する畦間雑草は汚損粒の発生につながり、コンバインを詰まらせる等のトラブルを誘発しかねません。また、種子がこぼれると来年さらに発生が多くなります。種子ができる前に抜き取るなど、収穫前に雑草対策を徹底しましょう。

注) 今後、群生する畦間雑草に対して除草剤を使用する場合、散布時期は大豆の落葉期以降とし、ラベルをよく読んで使用基準に従って使用するようしてください。

### 【抜き取りが必要な大型雑草の例】

イヌホオズキ、アサガオ類なども見つけたら抜き取る!



オオイヌタデ



アメリカセンダングサ

雑草が小さい今のうち!  
種子ができる前の今のうち!



オオオナモミ



イチビ

## V 農作業事故防止啓発運動実施中!

【事故を防止するために】

- ①危険を予知しよう
- ②携帯電話を持ち歩こう
- ③正しい服装で作業しよう
- ④体調に気を付けよう
- ⑤農業機械の使用方法を確認しよう

どんなに近くでも携帯し、ポケットから飛び出さないような工夫をする。

袖口、ズボンの裾、首に巻いたタオルなどに気を付ける。

無理のない計画で作業し、気分が悪いと感じたら周囲に知らせる。



### 農作業事故!

危険回避を心掛け、ゆとりを持って安全に作業しましょう!